

緑・庭園・屋内外広場・屋上農園がある大型商業施設と複合施設

施設名称、所在地、開業	内容と特徴
Otemachi One 千代田区大手町 2020年2月竣工	大丸有エリア最大級となる緑地空間「Otemachi One Garden」を22年12月にオープン。約6000㎡の緑地空間のうち芝生を中心とした約3000㎡がイベントスペースになり、大手町エリアでは希少なイベント対応型の広場空間。7つのゾーンからなり広場内にキッチンカーも登場する。
渋谷パルコ 渋谷区宇田川町 2019年11月	10階にある「ROOF TOP PARK」は植栽・木々に囲まれる約420坪の公園のような屋上広場。同広場にある約60坪の屋内イベントスペース「ガーデンステージ」では食、クラフトなどのマーケットから音楽イベントまで展開
KITTE 丸の内 千代田区丸の内 2013年3月	屋上庭園「KITTE ガーデン」は約1500㎡のスペースがある緑豊かな憩いの場。JR東京駅丸の内駅舎や東京駅周りの高層ビル群を一望できる。屋上庭園が6階にあり駅に近いこともあって昼も夜も利用者が多くみられる
GINZA SIX 中央区銀座 2017年4月	13階屋上庭園「GINZA SIX ガーデン」は約4000㎡ある銀座最大の庭園。四季折々の花や木が植えられており、芝生や水盤もある。ガラス越しに銀座の街を全方位で見ることができる
浅草エキミセ 台東区浅草 2012年11月	屋上にある「浅草ハレテラス」は東京スカイツリー®を一望できる。買物合間の休憩スポットにも。季節に応じた催し・イベントも開催。毎回多くの予約が入る隅田川花火大会の会場にもなる。
立川高島屋S.C. 立川市曙町 2018年10月	23年11月のリニューアルで10階屋上にコミュニティゾーンとしてサポート付き貸し農園「シェア畑ガーデン」とイベント広場が新設される。特製大型プランターを利用して野菜づくりができる農園サービス。栽培に必要なものを完備しているため手ぶらで来園が可能
ららテラス TOKYO-BAY 千葉県船橋市 2023年11月	ライフスタイル型商業施設としてオープンする三井ショッピングパーク ららテラス TOKYO-BAY には地域居住者の日常の憩いの場となる約5000㎡の大規模な広場空間が設けられる。JR南船橋駅前に立地
大手町ビル 千代田区大手町 1958年4月竣工	三菱地所による大規模リノベーションで大手町ビルの屋上に新設されたのが「大手町ビルスカイラボ」。同スカイラボは約4000㎡の屋上に緑あふれるワークスペースや都内最大級の農園スペースが整備され、“都会に新しいcommonsを”をコンセプトに、農園全体を皆でシェアしてつくり、食べられる農園であることが特徴。ワークスペースは157席使用可能
イオンモール上尾 埼玉県上尾市 2020年12月	23年4月、平面駐車場部分を改修して約3000㎡の公園「AGEO PARK」を新設。ちびっ子が遊べる「遊具広場」をはじめ、ピクニックのように食事を楽しむ「芝生広場」、ペットと一緒に過ごせるペットエリアからなる
自由が丘 デュアオーネ 目黒区自由が丘 2023年秋	イオンモールが建設する商業施設。同施設には27の専門店が出店するほか、地域の人々が憩い集う緑豊かな開放感にあふれるテラスを配置。約1000㎡からなるテラスは「インスピレーションの庭」をテーマに、ヨガや食物販マルシェ、ちびっ子も楽しめる様々な体験型交流イベントを開催する

虎ノ門ヒルズ ステーションタワー 港区虎ノ門 23年7月竣工	虎ノ門ヒルズ ステーションタワー（地上49階・地下4階）は東京メトロ日比谷線虎ノ門ヒルズ駅と街の一体的な開発によって地下鉄駅前広場「ステーションアトリウム」（約2000㎡）が誕生する。同ステーションタワーの地上250mの屋上にはスカイガーデン、プール、レストランが配置される
麻布台ヒルズ 港区麻布台 2023年秋	本年6月にA街区とC街区が竣工（他にB街区がある）した麻布台ヒルズは住む・働く・学ぶ・憩うなど、多様な都市機能が徒歩圏内に集約された「立体緑園都市」となる。約8.1haもの広大な計画区域は圧倒的な緑に包まれ、約6000㎡の中央広場を含む緑化面積は約2.4haに上る
九段会館テラス 千代田区九段 2022年10月	東急不動産・鹿島建設による旧九段会館の保存・復元事業。保存部分屋上にオフィスワーカーと一部来館者も利用可能な屋上庭園とラウンジを整備。正面玄関前には外部との交流を生む緑豊かな広場「九段ひろば」を設置
たまプラーザ テラス 横浜市青葉区 2010年10月開発	たまプラーザ テラス ノースプラザ3階屋上をリニューアルして22年10月に庭園「COMMON FIELD たまプラーザ」をオープン。同庭園は約3000㎡の広さがあり「街の人が家族になれる、大きな庭」をテーマに、人工芝ゾーン、キッズゾーン、自然豊かな植栽があるゾーンからなり、ゆったり過ごせる人工芝ゾーン中心にイベントやワークショップを開催している
南町田グランベリーパーク 東京都町田市 2019年11月	「まちぜんぶが“パーク”になる」をコンセプトに、商業施設のグランベリーパークと公園が融合した施設を整備。グランベリーパークは施設内にアウトドアやグルメ、エンターテインメントなど多様なコンセプトの7つの広場で多彩なイベントを展開。公園を合わせたパーク全体では14の広場となる
大手町タワー 千代田区大手町 2014年4月全体竣工	10年前、高さ約200mある大手町タワーの開業と同時に低層部に商業施設「OOTEMORI」と地上部に「大手町の森」が誕生した。敷地面積の3分の1を占める約3600㎡に及ぶ一帯に草木が茂る本物の森が大手町の森。今では森の中に多様な動植物が確認され、ヒートアイランド現象の緩和や土壌の保水効果による雨水流出防止等都市の環境改善に寄与する森に育っている
マークイズみなとみらい 横浜市西区 2013年6月	5階にある屋上庭園「みんなの庭」は約1000㎡の広さに果樹園・菜園があり、四季折々に果樹、野菜、ハーブなどを栽培している。土・日・祝には同庭園でイベントが開かれ、顧客参加の自然体験イベントを年間100回以上開催。この10年でイベント参加者が延べ5万人を超えた
アリオ鷺宮 埼玉県久喜市 2012年11月	ちびっ子からお年寄りまで楽しめ、交流の場となる5つのパークを設けている。エコキッズパーク・コミュニティパーク・ウェルカムパーク・フィットネスパーク・ドッグランパークからなり、総面積は約3400㎡。エコキッズパークには大小の遊具、ポップジェット噴水、太陽光パネルなどがある
蔵前JPテラス 台東区蔵前 2023年3月全体竣工	オフィス主体の「JPライオンビルディング」・「住宅棟」・「物流棟」からなる大規模複合施設。物流棟9階にテニスコート11面半分の「屋上庭園」がある。同庭園は四季折々の花々や果樹、ハーブなどが配された入居者や利用者の憩いの場。加えて貸し菜園「蔵前JPテラスファーム」がある

西武百貨店池袋本店 豊島区南池袋 1940年3月	9階屋上に2015年4月に「食と緑の空中庭園」を開園。広さは約5800㎡。同庭園は移りゆく季節の草花を鑑賞できる「睡蓮の庭」をはじめ、約150種類の魚を鑑賞できる「フィッシュショップ」、「ガーデニングショップ」、フードショップが集まる「フードコートエリア」からなる。イベントも展開
JR横浜タワー 横浜市西区 2020年3月竣工	ニューマン、シアル、オフィスなどが入る同タワーの12階にある「うみそらデッキ」は横浜港や横浜ベイブリッジを一望できる屋上広場。ニューマンが入る館内には緑の多いテラスがあり、4層吹き抜けのアトリウムもある
ブランチ守谷 茨城県守谷市 2022年4月	市有地に開発した複合商業施設。4棟17テナントで構成され、施設中央に全天候型の大屋根広場を設けている。加えて守谷市所有の約6200㎡ある大規模オープンスペース「ブランチパーク守谷」を併設している。サークル広場と芝生広場でなる同オープンスペースは交流の場として利用されている
TOKYO TORCH 千代田区大手町 2027年度全体竣工	21年6月に竣工した「常盤橋タワー」に合わせて「TOKYO TORCH park」が誕生。常盤橋タワーと現在開発中の「Torch Tower」の間に広がる同パークは東京至近にありながら自然を感じられる約7000㎡の大広場。常盤橋タワー「TOKYO TORCH Terrace」の全飲食店舗が同広場を望むテラスを有している。同パークは現在Torch Towerの建設に伴い縮小中
内幸町一丁目街区開発 千代田区内幸町 全体完成2037年度以降	都心最大級の延床面積約110万㎡の開発プロジェクトで、高さ230mの3つの高層タワーが建設される。約16haの日比谷公園とつながり、同公園と街をつなぐ「2つのデッキ状の道路上空公園」、「31mの高さにある基壇部上広場」、「2haの大規模広場」といったパブリックスペースが整備される
グラングリーン大阪 大阪駅北大深西地区 2024年夏頃先行まちづくり	JR大阪駅前に約4万5000㎡の都市公園を含む新たな街をつくる「(仮称)うめきた2期地区開発事業」。「みどりとイノベーションが融合したまちづくり」がコンセプト。都市公園を中心に、南地区、北地区の3つのエリアで開発。「(仮称)うめきた公園」は都市公園としては世界最大級の規模となる。南公園と北公園ができ、南公園は1万人規模のイベントが可能
りんくうプレミアム・ アウトレット 大阪府泉佐野市 2000年11月	2020年8月の第5期増設で「シーサイドエリア」を新設し、西日本最大級のアウトレットとなり“緑あふれるシーサイドアウトレット”を標榜。合わせて海沿いに約2万㎡の広大な広場「シーサイドパーク」を新設し、アウトレット初となるグランピングやアウトドアアクティビティなどの施設を整備
SHIMINT HIROSHIMA 広島市中区 2023年3月	旧広島市民球場跡地整備事業で開業した広島都心部における「屋外環境×滞在型」の施設。公園の中心部に様々なイベントが開催可能な約6500㎡の大空間「HIROSHIMA GATE PARK PLAZA」が配置され、その周りに8棟の商業施設を配置。全長約190mの桜並木の散歩道も整備されている
三井ショッピングパーク ららぽーと福岡 福岡市博多区那珂 2022年4月	新しい体験に会い・遊び、くつろぎも満喫できる9つの多彩なパーク(広場)を屋外エリア中心に開設。約4000㎡の「オーバルパーク」は様々なイベントが可能、農園体験ができる「アグリパーク」、広大な「スポーツパーク」、「フットボールパーク」などの広場が1～5階の全フロアに配置

<p>サクラマチ クマモト 熊本市中央区 2019年9月</p>	<p>屋上階に熊本城を望む広々とした緑あふれる「サクラマチガーデン」がある。その庭園エリアには日本の四季を五感で感じられる「おもてなしの庭」として、ルーフトップパーク・ルーフトップコート・桜町庭園があり、地上48mのR2Fの熊本城テラスは全方位を見渡せる大パノラマ。常緑樹・落葉樹・地被植物の花々など200種以上、3000本・株以上の植栽で屋上緑化</p>
<p>アミュプラザくまもと 熊本市西区 2021年4月</p>	<p>入口を入ると熊本の雄大な自然を感じる水と緑あふれる立体庭園「ぼうけんの杜」がある。1～7階までひとつなぎの巨大な吹き抜け空間に10mの高さから流れ落ちる滝、岩や樹木などがある。3階の高さに位置した熊本駅前広場を覆う屋根上の「おおやねテラス」は縦15m×横30mの広さの屋外庭園</p>
<p>アミュプラザおおい 大分市要町 2015年4月</p>	<p>8階屋上にある「シティ屋上ひろば」は日本最大級の広さを誇る屋上庭園。約1000本の四季折々の花々や樹木があり、ミニトレインや遊具、展望台などを備え、大人から子供まで楽しめる憩いの空間</p>
<p>三井アウトレットパーク ららぽーと堺 大阪府堺市美原区 2022年11月</p>	<p>屋内型スタジアムコート併設型の商業施設。施設の中央に本格イベントを楽しめる屋内型スタジアムコート「ファンスタ クロス スタジアム」を開設。スタジアム全体で約2500㎡の広さがあり、スポーツ・エンタメイベントの観戦やイベントを観覧しながら飲食を楽しめる。観覧可能人数は約1400人。屋外には「MIHARA パーク」がある</p>
<p>アミュプラザみやざき 宮崎県宮崎市 2020年11月</p>	<p>コミュニティの拠点となった「アミュひろば」は広さ1250㎡、37m×18mの大屋根のある全天候型イベントスペース。うみ館の屋上デッキ「アミュそら」からは山や海の自然や街中を一望できる。「アミュにわ」は6階と7階にある屋上庭園で、前者は水と緑による憩い、癒し、くつろぎの庭。後者はイベントなど多目的に利用できるスペース</p>
<p>GARDENS CHIHAYA (ガーデンズ千早) 福岡市東区 2022年4月全館完成</p>	<p>ゴルフ練習場跡地に開業した体験提供型商業施設。ガーデンズ千早は3階建ての店舗棟に隣接してガーデンエリアの「ガーデンズちはや公園」(4145㎡)とでなる。同公園には芝生広場や樹木、オープンデッキなどを設けた開放的なスペースの中に7つのショップが配置され、大人から子供まで楽しめる</p>
<p>THE OUTLETS KITAKYUSHU 福岡県北九州市 2022年4月</p>	<p>3000㎡のアクティベーションフィールドに陸上用トラック・芝生広場、人工芝のフットサルコート3面、大人から子供まで植物を楽しめるガーデンセンターなどを整備。フードトレーラー10台が並ぶ屋外カフェエリアも開設。公園を散歩しながら買い物を楽しめるような居心地の良い環境空間に</p>